

○公民館訪問

地域人材の活用

・板倉町北部公民館・・・公民館に集まろう

地域のお寺の住職を講師として、うちわづくりを実施されました。地域の方の特技を体験活動に生かすことはよく実践されていますが、どこにそうした人材がいるかを考える上で参考となる事例でした。

学校との連携

・館林市城沼公民館・・・プログラミング学習

夏休み中の子どもの体験活動として、プログラミング学習の講座が実施されていました。きっかけが大変興味深く、小学校の教務主任から聞き取りを行い、そこで得た意見から企画のアイデアに結び着いたということでした。企画段階で、学校からの声を聞き、子どものニーズを把握し、講座づくりにつなげていました。

○国庫補助事業等訪問【放課後子ども教室、地域未来塾の視察】

・桐生市放課後子ども教室

〈桐生市立西小学校〉

「夏の絵画教室」は、作業の段階で特別講師が各児童の能力に応じて個別の指導を行っていました。さらに、学年を超えて児童同士でアドバイスさせあったり、タブレットPCを使って上手な描き方を調べさせたりしていました。楽しい活動の中に、しっかりと学びの場面が設定されていました。

これらの手立てにより、図画工作の資質・能力の向上に資する社会教育になっていました。

〈桐生市立南小学校〉

子供たち自身による話し合いや、音読・朗読等の「力を伸ばすこと」を意図した活動が行われていました。ボランティアスタッフが上手な読み方を教えるのではなく、子供達自身に話し合わせ、声の大きさや調子を工夫させようとしていました。また、3~4人のグループに合わせて登場人物も3人程度の内容を選択するなど、教材も工夫されていました。

〈今後の地域と学校の連携推進について〉

学校が、どのような資質・能力をどの学年、どの教科で学習する計画であるのかを、ボランティアスタッフや地域社会が共通理解することが必要となります。地域と学校の連携・協働推進や、社会に開かれた教育課程の実現を見据えた研修会の実施、伴走支援、情報提供を行い、共通理解の裾野を広げていけるよう努めてまいります。